

2017年3月期 第2四半期 決算発表後 IR 活動での Q&A

Q：全体：上期業績と下期業績予想比、上期売上(1,361 億円)と下期売上予想(1,479 億円)の増加幅(+118 億円)に対して、営業利益の改善幅(+47 億円)が大きくなる理由は？

A：上期比では、全セグメントの売上増加による増益に加え、SE 事業を中心とする変動費率の改善が寄与すると見えています。

Q：全体：財務面について、ネットキャッシュは今後も続くか？今後の見通しは？

A：CCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)の改善が継続しているため、3Q 以降も維持できる見通しです。

Q：SE 事業：3Q 以降の受注の見通しと、牽引役は？

A：かなりの高水準であった 2Q 受注の 533 億円からは一服感はありますが、引き続き高水準を維持できる見込みです。メモリー、ファウンドリーが牽引役になると見えています。

Q：SE 事業：新製品 SU-3300 について、売上時期はいつごろか？ SU-3200(既存の主力製品)との相違点は？

A：今期中に複数社で評価を受け、来期以降に売上に寄与する予定です。
SU-3300 は、最大で 24 台のチャンバーを搭載でき、高生産性を実現しています。
SU-3300 は、枚葉式洗浄装置のラインアップの追加であり、SU-3200 とともに顧客の要求に合わせて併売していきます。

Q：GP 事業：2Q は 1Q の営業損失から回復したが、今後、収益性を向上させる施策は？

A：海外に重点を置いた販売力の強化やコスト削減などを推進します。

Q：FT 事業：2Q 受注も高水準だったが、3Q 以降の見通しは？

A：2Q まで 4 四半期連続で 100 億円レベルの高水準を継続しており、3Q 以降も続く見通しです。

備考

セミコンダクターソリューション事業：SE

グラフィックアンドプレジジョンソリューション事業：GP

ファインテックソリューション事業：FT

以上